

2013年6月1日 NO.54



イルカ通信

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

「今シーズンのザトウ模様」

小笠原のホエールウォッチングの目玉であるザトウクジラ。今月のイルカ通信では、毎年実施しているウェザーステーションからの定点観測結果をお伝えしたいと思います。

右のグラフは、定点観測で発見したザトウクジラの平均発見頭数を半月ごとに示したものです。シーズン序盤は、昨シーズンと比較して平均発見頭数が多く、また3月の前半には一度、発見頭数が減りましたが、後半に入るとまた増える傾向が認められました。この傾向は、ベストシーズンの時期に良く見られるものですが、昨年よりも時期が早かったようです。そして4月に入ると段々と見られる頭数が減り、5月は発見がない結果となりました。

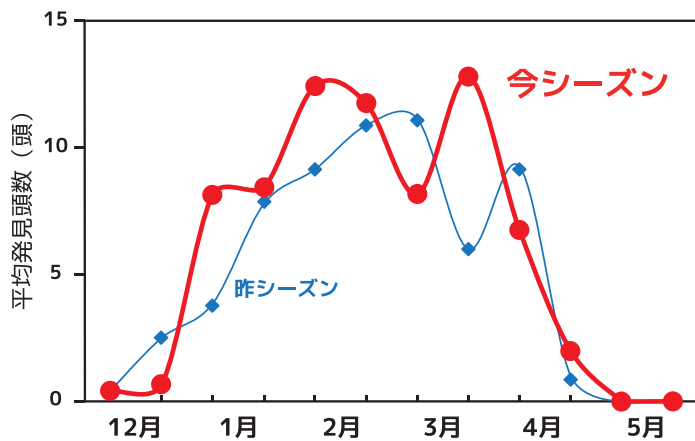


図1. 定点観測での平均発見頭数の推移

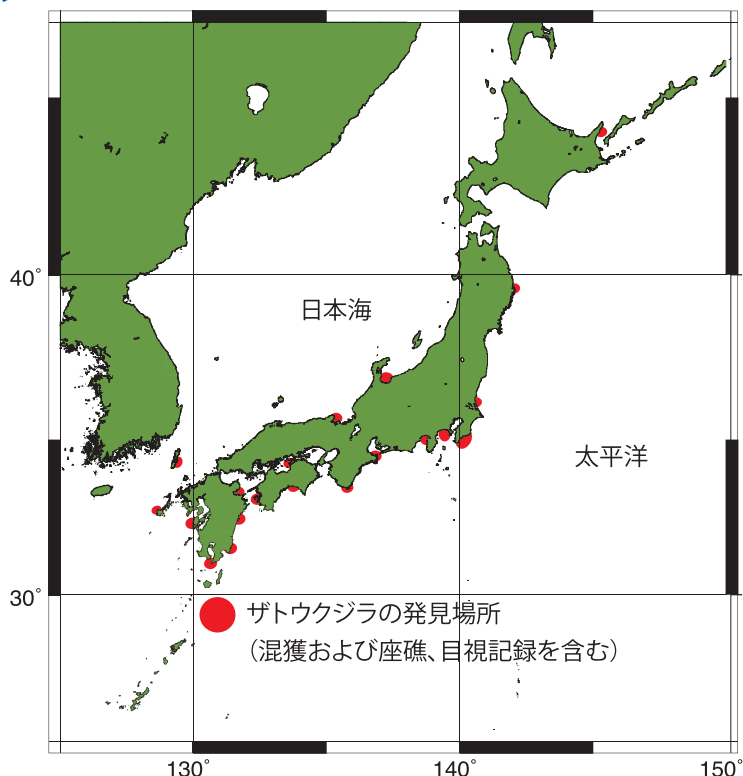


図2. 日本沿岸でのザトウクジラの発見海域 (期間は4月～6月に限定)

データ参照元: (財)日本鯨類研究所ストランディングレコード (<http://www.icrwhale.org/zasho.htm>)など

では小笠原での発見が少なくなってきた頃、ザトウクジラはどこにいるのでしょうか？左の日本地図は、日本沿岸でのザトウクジラの混獲、座礁、目視記録を元に作成した発見地図になります(期間は4月から6月の間に限定)。地図を見ると太平洋側での発見が多く、北は北海道、南は鹿児島県まで各地で発見されていることが分かるかと思います。

事例が少ないのですが、日本海側での発見情報もあります。今回ご紹介した情報はごく一部ですが、今後このような目撃情報がたくさん集まれば、ザトウクジラの回遊ルートの特定にも繋がるかもしれません。

小笠原でのザトウクジラの最終発見情報は6月1日で、親子のクジラが北へ向かって泳いでいたようです。最近では三陸沖での発見情報が多いので、ほとんどの個体が北上したのかもしれませんが、もし小笠原近海で、ザトウクジラを発見した場合は、OWAまでお知らせください。小笠原での6月の発見情報は非常に稀なので、どうぞよろしくお願いいたします。